

○ 奈良・町家の芸術祭HANARART2012 「HANARART こあ」キュレーターの募集結果について

1次募集(平成24年5月25日(金)～6月20日(水)) 応募数: 29組 、採択数: 8組 2次募集(平成24年7月15日(日)～7月27日(金)) 応募数: 12組 、採択数: 4組

審査委員: 増井 正哉(奈良女子大学 生活環境学部 教授)、三瀬 夏之介(画家)、東北芸術工科大学 准教授、奈良・町家の芸術祭HANARART2011招待作家)

審査の視点: オリジナリティ、 サイトスペシフィック性(奈良の町家で実施する意義を持ち、地域・会場の歴史や文化を意識しているものかどうか)、 芸術的なレベル、 表現の現代性 等

採択者

No	開催地域	展示会場	キュレーター氏名	キュレータープロフィール	キュレーションコンセプト(【 】は企画展覧会のタイトル)	出展アーティスト名
1	郡山城下町	旧川本邸	やまなか とし ひろ 山中 俊広	 1975年生まれ 関西を拠点に活動するインディペンデント・キュレーター	【「記憶」をゆり動かす「いろ】 表現スタイルの異なる5名の作家によるグループ展を、大正期の遊郭建築《旧川本邸》にて開催します。この場にかつて存在していた様々な感情や情景が、作品の「色彩」によって喚起される空間を、現在に提示します。	加賀城 健(かがじょう けん) 中島 妻(なかじま むぎ) 岡本 啓(おかもと あきら) 前谷 康太郎(まえたに こうたろう) 野田 万里子(のだ まりこ)
2		杉山小児科医院	ちば じゅんいち 千葉 淳一	 1963年生まれ ギャラリスト	大正期の洋風建築を舞台に3人の女性アーティストが競演します。 胎内を漂う感覚をイメージした福田の抽象画でスタート。 端正なたたずまいの建物と響き合うように、静かでありながら幸福感に満ちた作品を展示します。	依美(えみ) 西岡恵子(にしおか・けいこ) 福田透子(ふくた・りょうこ)
3		浅井邸酒蔵	はやし かずね 林 和音	 1984年生まれ 大阪府在住の美術作家(インスタレーション)	【『繋がる穴 ひろがる酒蔵】 「繋がる穴」をキーワードに、郡山に残った古い酒蔵空間に大きな作品をインスタレーションします。 人と人、地域と人を繋ぎ、過去・現在・未来の時空を繋ぐ穴。 未だ見ぬ世界へ皆様をご招待します。期間中に公開制作を実施します。	林 和音(はやしかずね) ※キュレーターと作家を兼任します。
4	八木の辻	JR歛傍駅 貴賓室	かとう たかあき 加藤 孝朗	 1971年生まれ 音楽から落語等広く手掛ける多文化プロデューサー 東京在住	歴史の中で封印された部屋は、音で空気を揺らせば再び目覚めます。 見えない「時のうつろい」と、聴こえない「静寂」を、目で見て、耳で聴いて「体験」する空間を描きます。 静寂は音の中にあるという、アイロニック。	加藤孝朗(かとう たかあき) chori(ちおり) 恒松遙生(つねまつ よう) 筆谷亮也(ふでにに りょうや) 波多野敦子(はたの あつこ)
5		深瀬家	たにぐち かずまさ 谷口 和正	 1964年生まれ 京都在住の彫刻家 鉄を素材に文字をモチーフにした作品を制作	「日本文化のクロスロード」八木の辻において、鉄の文字によるキューブ状の作品を町並みに 見立てて配置します。 旧街道の面影と現代アートとのクロスロード(交流)を表現することで、歴史遺産の再認識に繋げます。	谷口 和正(たにぐち かずまさ) ※キュレーターと作家を兼任します。
6		八木の辻交流館	にしだ たかひこ 西田 隆彦	 1973年生まれ 奈良市在住の美術作家(洋画) 関西文化芸術学院美術教員	【『アート×旅籠(ハタゴ)』～アートの宿っておもしろい！？～】 八木の辻で歴史的な交差点に位置し、「旅籠」として機能していた平田家。 アート作品が集う宿として、「旅」と「つながり」をテーマに「アート×旅籠」として再起動させたいという 思いがあります。	赤松加奈(あかまつ かな) 木下 穂乃佳(きのした ほのか) 久保田 純(くぼた じゅん) 高岡 晴(たかおか あきら) 西田 隆彦(にしだ たかひこ) 森川 浩孝(もりかわ ひろたか)
7	五條新町	まちなみ伝承館	ひらた たけし 平田 剛志	 1979年生まれ 美術批評、京都国立近代美術館研究補佐員	花岡伸宏は、木やFRP樹脂などの素材をカラージュし、違和感のある彫刻作品を制作するアーティストです。 今展示では、「まちなみ伝承館」の建物と伝承されてきたものを用いて町家全体に作品を展開します。	花岡伸宏(はなおか のぶひろ)
8		中家住宅	ひらた たけし 平田 剛志	 1979年生まれ 美術批評、京都国立近代美術館研究補佐員	菅原布寿史は、日本の古典美術やアジア各地の遺跡をモチーフに平面・立体作品の制作を行っています。 今展示では、中家住宅の歴史・時間性を内包した「絵画」を展示し、作品と町家が持つ時空間の出会いを表現します。	菅原布寿史(すがはら ふとし)
9		まちや館	はぶと ひろみ 羽太 広海	 1969年生まれ 奈良市在住の映像作家 奈良産業大学専任講師	ほの暗い町屋の内側から、光の仕掛けがおもてなします。 インラクションと映像が町屋建築に動きを与え、楽しく面白い空間にひとつの間変わります。	大西宏志(おおにしひろし) 羽太広海(はぶとひろみ) 羽太祐子(はぶとゆうこ)
10	三輪	今西家 ・ 池田家	もりやま まさこ 森山 牧子	 大阪の現代アート系ギャラリー勤務	悠久の歴史をもつ三輪山と大神神社に見守られてきた三輪のゆったりとした時間の流れ、風の揺らぎ、 人と自然、人とまちのつながりを、5人の才能ある作家により、かたちにしたいと思います。	金光男(きむみつお) 中岡庸子(なかおか ようこ) Lucille Reyboz(ルシール・レイボーズ) 仲西祐介(なかにし ゆうすけ) 國政聰志(くにまさとし)
11	御所市名柄	池口邸 ・ 旧名柄郵便局局舎	ばんの くみこ 伴野 久美子	 1955年生まれ 神戸市在住の造形美術家 舞台と出版のプロデュースも手がける	【用の美 美の用=生活空間を設う美 社会生活を映す美】 町家をリニューアルしてモダンでオシャレな生活をされている池口邸は「現在から未来へ」、 地域の豊かさを彷彿とさせながらも廃墟化が進む旧名柄郵便局は「歴史(的価値)対現代(地域社会)」。 参加型美術＆舞台設え。	中嶋雄二(なかじまゆうじ) はしもとどもこ 富田進吉(とみたしんきち) 藤井昭造(ふじいしょうぞう) 伴野久美子(ばんのくみこ)
12	田原本町内町	浄照寺 ・ 鍵岡本家	たにがわ けいこ 谷川 恵子	 大阪市内企業アートスペース勤務 市内にアートスペース準備中	アートが持つ力の一つ「モノの捉え方が変わってしまう」そんなきっかけをつくるべく、田原本町に存在する 「モノ・コト・ヒト」の「歴史と現代」を、音の現象と異質空間として再構築します。	小野 紗雪(おの さゆき) 西川 文章(にしかわ ぶんしょう)